

## 2016 年度後期 学生授業評価アンケート集計結果に対するコメント

—キャリアセンター—

キャリアセンター長 相原 章

全学共通教育科目のキャリアセンター開講科目についてアンケートが実施され、延べ 69 名の学部生のみなさんからご協力を頂きました。この場を借りて、お礼申し上げます。また、今回もアンケートの実施にあたり貴重な授業時間中にご協力頂きました先生方にも厚くお礼申し上げます。

今回の授業評価アンケートは、実施対象科目数 15 科目（実施必須科目数 4、実施任意科目数 11）のうち、11 科目で実施されました。その集計結果についてコメントを行いたいと思います。

授業の満足度を示す「総合的にこの授業を評価できる」の回答平均値は、5 段階評価で 4.81 であり、大学全体の回答平均値 4.35 よりも上回っていました。この「総合的にこの授業を評価できる」とのあいだで強い正の関心がみられたのが、「この分野の関心と学力が得られた」（相関係数：0.69）、「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心掛けた」（相関係数：0.66）、「授業中意欲的に取り組んだ（ノートをとる等）（相関係数：0.59）、「授業への教員の熱意を感じた」（相関係数：0.56）でした。

これらの結果は、キャリアセンターが開講している科目の多くが、座学に終始せず受講者の興味・関心を刺激する双方向的な授業が展開されていることをあらわしていると捉えられます。また、先生方には、実践レベルにおける知への探求を刺激するファシリテーターとしての役割も十分に発揮して頂いたと考えています。

一方で、「予習または復習をよくした」の回答平均値は、大学全体の回答平均値（3.51）よりも低い結果となっており、他の項目のすべてが 4 点台であったことと比べると今後の改善に結びつけていかなくてはならないものとなっています（回答平均値：3.40）。ただし、前期の回答結果（回答平均値：3.08）と比べると改善の傾向がみられると捉えることもできます。

今回のアンケート結果でみられた「良い」ところについては、今後もさらに伸ばしていき、「気になる」ところについては、授業を離れたところでのアクティブ・ラーニングがみられるように改善を進め、授業の質的向上に努めていければと思います。